そ　よ　か　ぜ



（写真左：菅野法人理事長、右：石川新院長）

当院は長年にわたり、この地域の精神科医療を支え、多くの患者様とご家族に寄り添ってまいりました。その歴史を受け継ぎながら、新たな時代にふさわしい病院づくりに取り組んでまいります。

近年地域医療を取り巻く環境は大きく変化しています。高齢化が進み、認知症やうつ病、不安障害などの精神疾患に加え、糖尿病や心疾患などの身体の病気を併せ持つ方も増えています。精神科医療には病気を治療するだけでなく、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支える役割がこれまで以上に求められています。

私たちは、外来診療、入院生活、デイケア、訪問看護、地域生活支援をさらに充実させ、急性期病院や診療所、福祉・介護関係者の皆様と連携しながら、「治療から地域での暮らしまで」切れ目なく支える病院を目指します。

また、ご本人だけでなく、ご家族の不安や悩みにも寄り添い、認知症や高齢者の心の健康、身体の病気を抱える精神疾患の方への支援にも取り組んでいきます。

医療は病院だけで成り立つものではありません。地域の皆様、医療・福祉・介護に携わる皆様との信頼と協力があってこそ、より良い医療を提供することができます。

これからも「地域に必要とされ、地域とともに歩む病院」であり続けられるよう、新院長としても職員一同、力を合わせて努力してまいります。

院長　石川

地域のイベントに参加して

8月2日（日）、多賀城市文化センターで開催された「ロビーステージ＆サークルフェア特別版」にメープルガーデンが出店しました。
雨の中多くのお客様が足を運んでくださり、パンやお菓子の他、農場で収穫した玉ねぎやみょうがも好評でした。「パンも野菜も安いね」という声や、「こう料理すると美味しいよ」と新しい食べ方を教えていただく場面もあり、交流の広がるひと時となりました。
利用者の皆さんが一生懸命取り組んでいる作業が形となり、お客様に喜んでいただけたことを嬉しく感じました。
今後も地域の皆様に愛される活動を続けていきたいと思います。





職場外活動

先日、塩竈市遊ホールにて開催されました市民ミュージカルに当院の事務部長が出演していました。

以前から劇団活動をされていた事務部長。
市民参加型のミュージカルらしく、公募で集まったお子さんから80代の方まで幅広い年代の方々が参加されたそうです。
普段とは異なる印象でアカペラのソロパートを歌い上げる事務部長は、一見の価値ありかもです。

皆さんも次回はぜひ見てみてはいかがでしょうか。



認知症カフェにて

利府町北部地域包括センター主催の「認知症カフェ 忘れな草」にお招きいただき、精神科認定看護師による「認知症ミニ講話・参加型音楽療法～バンド演奏で楽しむ懐かしの歌たち～」のボランティア活動を行いました。

認知症予防に懐かしの音楽は効果があると考え、昨年度より地域ボランティアの協力も得て、はく【HAK】というバンドを結成し、今年は34曲のリクエスト曲を一生懸命練習し、本番は時間の関係上18曲のみになってしまいましたが、皆さんと共に生の音楽を作り上げました。当日は30名の方にご参加いただき、演奏後、参加された方が、毎月はく【HAK】に来てほしいとの感想を頂いたそうです。また別の方からも直接、昔、仙台でコーラスをしていたが、ここで大きな声で歌えて良かったと喜んでいただきました。

皆さんと大きな声で懐かしい歌を歌う事は、心の健康によいだけでなく、嚥下機能が向上し、肺炎予防にもつながるので、こういう機会をいただけた利府町北部地域包括センター様に感謝し、今後も可能な範囲で社会貢献をさせていただきたいと思いました。









こころの健康相談室に参加して

この度御縁があり、アビリティーズジャスコ様主催宮城県医療機関在住の精神科看護師有志によるボランティアに参加させていただきました。

本企画は、4月に入職、心身に疲労の出やすい6月の時期予約制で1人1時間の時間、ゆっくりと寄り添うという趣旨でした。

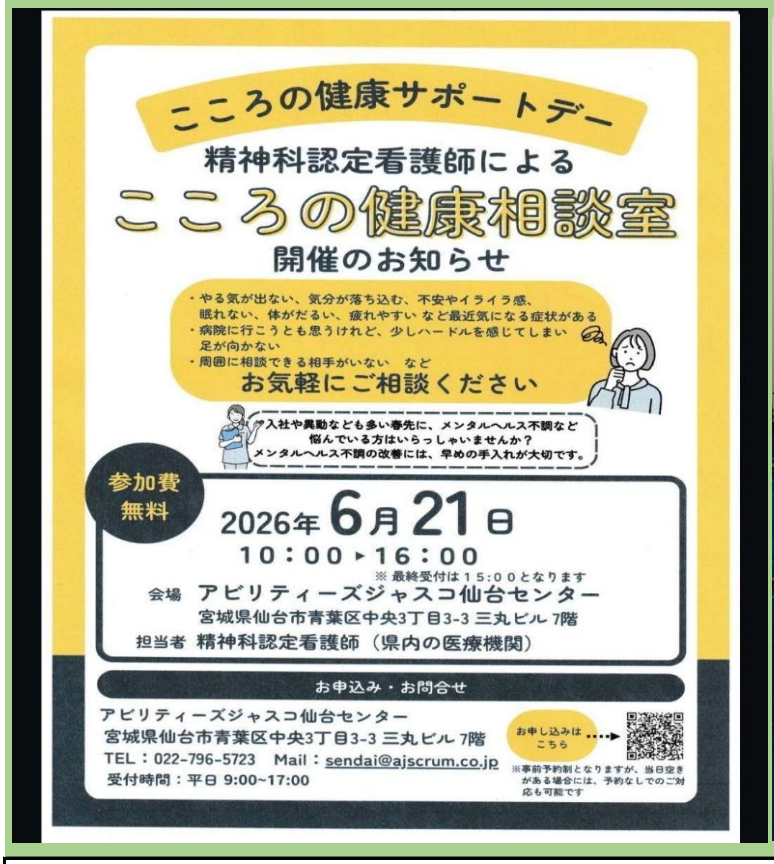
初回である今回、3名の事前予約者と、当日直接お越しになった1名のご相談者の対応を、3名で対応させていただきました。

私もすぐれない表情で相談をなされている1名の方が、雑談を通して、笑顔を数回引き出せた事は、嬉しかったです。心から笑えたのはひさしくなかったとご本人から伝わり、改めて安全な環境下で、他愛もない会話ができることの大切さを学びました。

脳疲労は、ディフォルトモードネットワークが常時作動している状態で蓄積され、それぞれにあう脳を休めることのできる対処を自らみつけ、実践していくことで改善していくのではないかと私は学びを通して考えております。

伴走型支援に重きを置いている私にとって、市民の方と寄り添えた時間は貴重で、生きる事のありようを改めて考えさせられました。

貴重な機会に感謝し、これからも私自身日々学び続けたいと思います。





緑ヶ丘病院　広報委員会
〒985-0045　宮城県塩竈市西玉川町１－１６
TEL：(022)362-5555　FAX：(022)366-6243